

## 『 豊かな関わり 』

校長 矢島 孝幸

新年度がスタートして、あっという間に一ヶ月が過ぎようとしています。私にとっては、毎日過ぎていくのが本当に早かったです。きっと1年生も同じような気持ちだったのではないのでしょうか…。毎日が初めてのことばかりの1年生ですが、落ち着いて学校生活を送っている姿に感心します。もう立派な小学生です。

給食がスタートして2日目のことでした。東門で子どもたちの登校を見守っていると、ひとりの1年生がニコニコしながら私に近づいてきました。そして、「校長先生、今日のご飯何かな？」と尋ねてきたので、「ごめん。ちょっと分からないな。」と答えると、「楽しみだな。」と言いながら昇降口に向かっていきました。その時の笑顔を見ていると、心からご飯(給食)を楽しみにしているのが伝わってきました。新しい小学校生活の期待と不安が入り交じっている1年生にとっては、すべてが新鮮なのでしょう。1年生の子どもたちが、旭小学校を大好きになって、生き生きと活動し、安心して過ごせる学校となるよう頑張らねばと改めて思いました。

朝、登校してくるたくさんの子もたちが明るい笑顔で元気に「おはようございます。」と、挨拶してくれます。その子どもたちの姿に元気をもらえます。挨拶だけでなくグータッチでコミュニケーションをとってくる子がいたり、何気ない話をしてくれたりする子もいます。校長室の前を通ると「校長先生!」とたくさんの子が声をかけてくれます。あさひっ子たちは、本当に人懐っこくフレンドリーで、素敵だと日々感じています。素直に挨拶ができたり、声をかけたりすることは、教えただけで身につくものではありません。これまでの旭小学校での生活やご家庭における日常が、このような子どもの姿として表れているのでしょう。この姿は、あさひっ子の良さであり、本校の強みでもあります。子どもたちの良さを伸ばして、校内が活気に満ちた学校にしていきたいと思います。そして、目指す子どもの姿の実現に向けて教職員が一体となって取り組んでいきます。



5・6年生が図工の学習で校内を装飾してくれています。5年生は、校内で見つけた場所を生かして自分たちが想像したものを表しています。6年生は、奥行き等を生かす工夫をして、トリックアートのように楽しむ作品を仕上げています。授業中に校内を回っていると、至る所で子ども同士が話し合いながら作品を創造しています。仲間と一緒に見つけた場所で自分たちの課題を解決するために試行錯誤しながら学んでいる姿がみられる場面です。本校の学校教育目標は『思いをもつ力』『やり抜く力』『関わる力』です。この学習を通して、子どもたちは自然と本校が目指す『力』を培っ

ていると感じました。その中でも、新しい学級となり、新しい仲間とともに学んでいる姿が印象的でした。学校生活では様々な『関わり』があります。子どもたちにとっては、やはり『仲間との豊かな関わり』が学校生活の安心につながるでしょう。各学級では、意図的に仲間と関わる学習を展開することもあります。そして、子ども同士をつなぎ、有用感を育てています。これからも仲間との豊かな関わりを通して、誰もが安心して学校生活を送れるような教育活動を進めていきたいと思っています。



校長室扉

5月は運動会を予定しています。子ども同士の関わりと、一人ひとりが全力を尽くして輝く姿をぜひ楽しみにしててください。